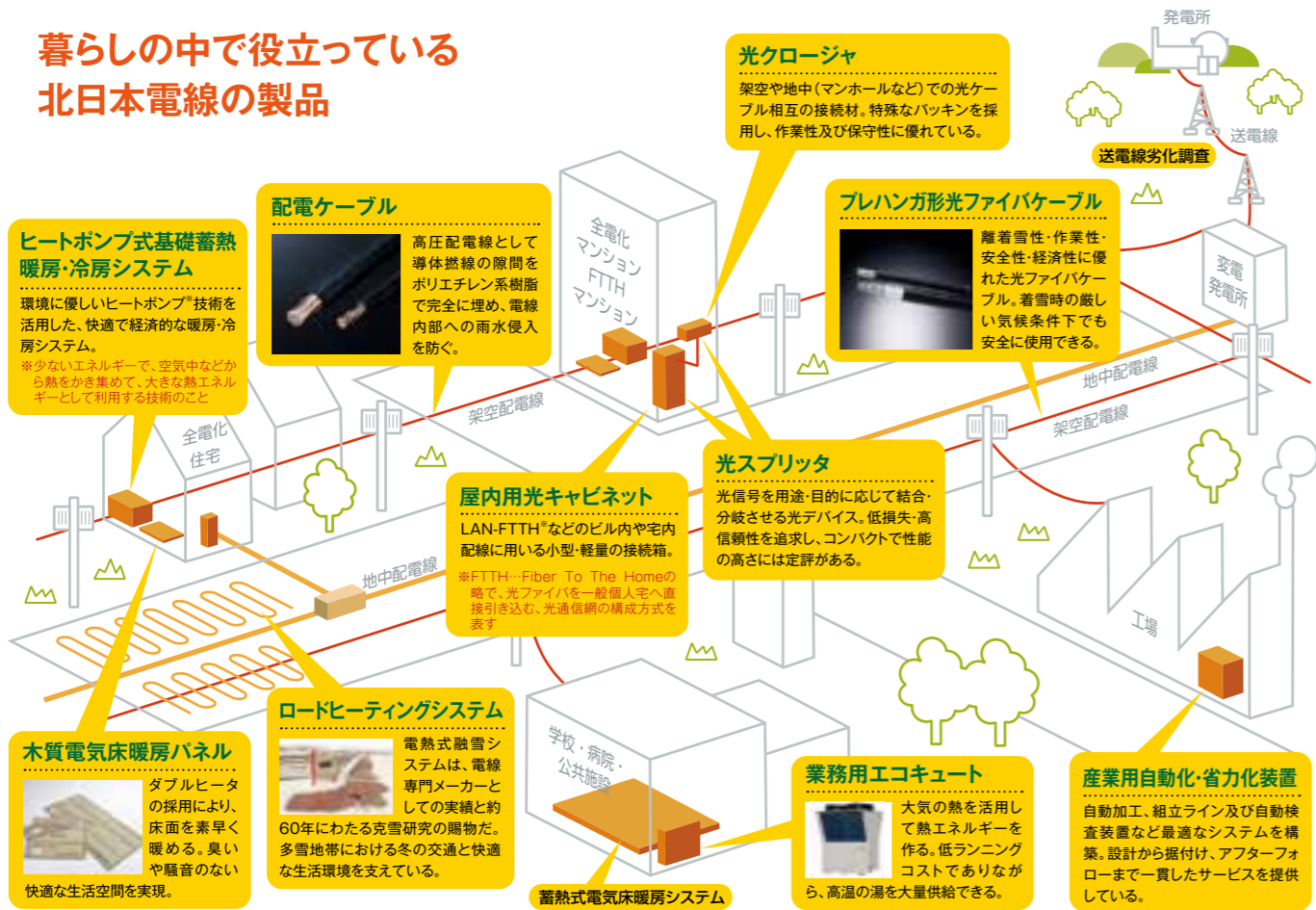




- 1 機械のセッティングを行う庄子さん。機械操作は念には念を入れて行う
- 2 敷地面積 199,381㎡を誇る船岡事業所には4つの工場があり、庄子さんが勤務する電力線工場は24時間、機械音が鳴り響く
- 3 裸の銅線（右手前）にビニルの絶縁体を被覆する。銅線が定速で送り込まれ、絶縁されていく



暮らしの中で役立っている 北日本電線の製品



震災がもたらした転機を活かし
ものづくりの視野を広めて新たなステージへ

仕事 01 電力供給の基盤を支え、ライフラインを担う

製造 庄子瞬さん (24歳)
北日本電線株式会社 (仙台市)

暮らしと産業を支える製品と最先端の技術で社会に貢献する——1946年の創立以来、常に北日本電線の思いは変わらない。とりわけ、東北の気候特性である雪や雷などの厳しい条件を克服するための、電線・ケーブルに関わる技術開発力は、業界でもトップクラスを誇る。電気の安定供給を通して地域の発展に貢献している。

電線は主に電力線と通信線に分類される。北日本電線は、長年に渡り培ってきた電線製造技術をもとに、光ケーブルや光部品などを開発。特に光部品の「微細加工技術」は国際水準の技術を有し、国際マーケットを視野に入れた事業展開を推進している。その一方で、使用済み電線を再利用するなど、地球環境に配慮した製品の開発・生産にも積極的だ。

※光部品・光通信の伝送システムに搭載される部品

確かな実績とものづくりを支える
技術・現場・人財の3つの力

北日本電線は、創立以来蓄積してきた技術に一層磨きをかけ、お客様に高品質の製品を提供している。ノウハウを共有し次世代へと引き継いでいく製造現場で、誠実に責任感をもって製造開発に取り組み人材は、会社の貴重な財産だ。会社が持つ「技術力」「現場力」「人財力」が一体となって、確かなものづくりが実現されている。

1971年に操業を始めた船岡事業所(柴田郡柴田町)では、主力製品である各種電線・ケーブル類を一貫生産。例えば銅電線の場合、材料となる銅を購入して電線用の銅線に加工し、その後ビニルやポリエチレンなどの被覆加工を施して電線を完成させ、お客様の希望する長さや出荷形態に仕上げるところまでを一貫して行っている。

船岡事業所は「電力線工場」「通信線工場」などの4工場と物流部門で構成される。最新鋭の設備と優れた生産技術の下で製造を行うことで、きめ細かく顧客ニーズに対応している。

「父親が自動車整備士だったので、幼い頃からものづくりに興味がありました」と語る庄子さんは、高校を卒業後、北日本電線に入社。船岡事業所の電線事業部製造部に

企業情報
北日本電線株式会社
所在地 / 本社：仙台市太白区鉤取字向原前 6-2
TEL 022-307-1800
FAX 022-307-1763
http://www.kitaniti-td.co.jp

取締役社長 / 三浦 政彦
設立 / 1946年7月
従業員数 / 356人 (2015年3月31日現在)
事業領域 / 電線・ケーブル、光ケーブル、光部品、融雪商品、暖房器などの技術開発、及び各種点検・劣化診断
企業理念 / 社会の繁栄に貢献する価値の創造

配属された。地元に着した歴史ある企業、高校の先輩たちが勤めている企業ということもあり、北日本電線には親近感があった。

電力線の絶縁工程に携わり 技術の習得も意欲的に取り組む

「自分の受け持ちは電力線ケーブル。裸の銅線にビニルの絶縁体を覆いかぶせる作業に携わっています。感電を防ぐために絶縁はとても重要なんですよ」。庄子さんは電力線工場で働き、24時間3交替で絶縁工程に従事している。ひと口に絶縁と言っ

も、その種類は様々で、製品により作業内容が異なる大変な作業だ。

時には、複数の機械を同時に使いこなさなければならぬ場合もある。「機械を毎日操作しながら、たくさん技術を地道に習得しています」と話す庄子さん。機械が停止している合間には、「エア操作」をして作業のイメージをふくらませることもあるそうだ。絶縁工程では一度機械が動き始めると、終了するまで止められない。「作業が2、3時間かかる場合がありますし、自分の担当ではありませんが、物によっては数日間動きっぱなしということもあります。だから

上司に聞く



電線事業部 製造部
製造グループリーダー
阿部 欣一さん

失敗を恐れず、同じ失敗を繰り返さずに 自立自発型のものづくりを目指してほしい

庄子君のように、ものづくりから入って、営業を経験した社員は当社の69年に及ぶ歴史上初めて。2年半の営業経験から、顧客の求めるものが何なのかを強く意識できるようになったようで、彼にとっても大きな糧になるでしょうね。失敗を恐れてはいけません。ただ、同じ失敗を繰り返さないよう、失敗の原因は何だったのか、しっかりと反省することも大事。また、今やっている方法が良い、と思いつまみで、自分たちでアイデアを出し合い、自立自発型のものづくりに取り組んでほしいと思います。今の時代は、お客様の元に製品を物として届けるというよりも、家族との絆・命を繋ぐ・明るさ・温かさを届けるのだ、と考えることが必要でしょう。色々な経験を積んで、庄子君にはオールマイティなスペシャリストになってくれると、大いに期待しています。



フォークリフトの免許を持つ庄子さん。工場の中で自在に操る

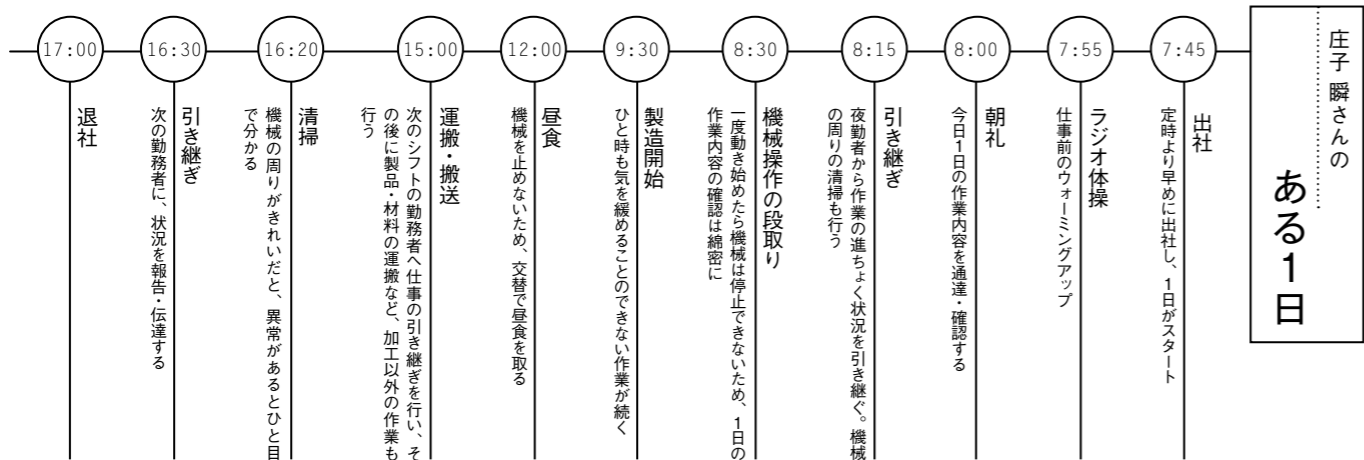


絶縁工程。裸の銅線が絶縁体で被覆されるまで、機械は止まることはない



現場は1日3交替制となっており、前任者からの引き継ぎは迅速かつ的確に行われる

「意欲的だ。庄子さんの、ものづくり第一ステージは今始まった。」



高校の先輩・今野さんとは震災後、営業職に配属され苦楽をともにした



製造部の活気ある雰囲気も、優れた「人材」を育む一因になるため、とりわけ神経をつかう



機械操作の段取りは製品の品質を左右するため、とりわけ神経をつかう

からこそ焦りは禁物。最初の設定を誤ると、全てが不良品になっちゃいますからね」と冗談を交えて語る庄子さん。その屈託のない表情からは、ものづくりを心から楽しんでいる様子が伺える。

震災をきっかけに営業職へ この転機が新たな第一歩になる

庄子さんが絶縁工程でスキルを積み重ねて2年半経った頃、東日本大震災が発生した。この震災は北日本電線にも様々な転機をもたらした。庄子さんが2012年11月から15年3月までの間、営業部に異動することになったのもそのひとつ。震災により大きく影響を受けた状況を根本的に克服する必要が生じ、「現場の人間も営業のスキルを身に付けるべきだ」という戦略で異例の人事が行われた。

「現場の人間が営業に移るのは創立以来初だそう。この春、元の部署に戻りましたが、自分も同僚たちも戻ってくると思っていまへん」と笑う庄子さんにとって、営業経験は収穫も大きかったようだ。「営業に配属されるまでは気がなななかったお客様のことを知るきっかけになりましたね。伝票の処理を通じて自分たちが作っている製品を、どういった方々が使っているのか理解できるようになりました」と語る庄子さん。「ものを見る目が変わり、製造だけでは気付かなかった面が見えてきました。製造コストの削減にも活かせるは



仕事
図鑑
CASE
01

電力供給の基盤を支え、 ライフラインを担う

製造
庄子 瞬さん (24歳)
北日本電線株式会社 (仙台市)



ここがACEポイント!

製造グループの従業員は82人だが、そのうち庄子さんと同じ絶縁工程を担当するのは8人。3交替制の勤務となっているため、毎日の引き継ぎも大切な。自分が困っていることを次の現場作業員にそのまま引き継がないように、庄子さんは日々心掛けています。さらに、社内で大勢いる先輩たちから、ものづくりの技術を学びつつ知見を広め、効率の良い作業ができるよう創意工夫を重ねている。



未来のACEへ 先輩からの アドバイス

高校在学中に二級ボイラー技師や第二種電気工事士の資格、クレーン及びクレーンに物を掛け外しする玉掛けの資格を取得していると即戦力になりますよ。フォークリフトの運転免許や危険物取扱者の資格も、入社後には取っておいた方が良いでしょう。

作業は段取りの仕方にしても、工具の扱いにしても、人それぞれです。先輩からノウハウを学んで、いい仕事につなげてほしいですね。

私は常に「行動の意味」を考えるようにしています。効率的な作業ができるように、自分へ問いかけることを心がけています。上司や先輩、周りの人たちときちんとコミュニケーションを取って、自分の気持ちも伝えることも大切です。そのためにも「飲みニケーション」はとっても役に立ちますよ。

仕事 図鑑 CASE 02

室内環境改善と省エネのトータルソリューション

営業事務
武山 寿佳さん (22歳)
北上電設工業株式会社 (石巻市)

震災をのり越え、地域の顔であり続ける
電気設備工事のプロフェッショナル

1975年、石巻市三ツ股に電気工事会社として設立された北上電設工業。

一般住宅の照明器具の交換などの小規模工事から、ビル・マンション・公共施設の設計・施工を含む大型工事まで、電気設備全般を施工管理する会社として営業してきた。

特に地域の公共施設の電気設備工事を数多く手掛け、高い評価を得ていることが誇りだ。2010年7月には、石巻市長から新庁舎改修工事電気設備で表彰。11年8月には、電気安全東北委員会より長年の優良電気工事功績で表彰を受けている。その後も石巻地域の通信設備や電気設備の工事で表彰を受けるなど、まさに電気設備工事の地元となっている。

武山寿佳さんがこの北上電設工業に入社したのは2011年。「地元で頑張っている企業に就職したい」と思っていました。北上電設工業は地域に根ざした企業として業務を展開しているため、とても興味を持ちました」と入社を決めた動機を語る。4月の入社が決まっていたが、あと1カ月というところで東日本大震災が起こり、本社が津波によって流失した。大きな打撃を受けながらも、会社は未広町にあった倉庫で営業を続け、武山さん



- 1 製品の設置現場で効果を実感する。実際の現場の状況を知ることで、効果的な営業提案につなげられるという
- 2 通信関連、空調、交通信号機など各種電気設備の施工管理を担う
- 3 震災後の2013年には本社機能を末広町に移し、地域の復旧に地元電気設備工事企業として尽力している

は3カ月遅れでの入社となった。「会社も地域も震災からの復旧に動いている中での入社。ライフラインに関わる仕事をしている企業なので、私も役に立ちたいと思いました」と語る武山さん。2013年、本社機能を末広町に完全に移転。街の復旧とともに発生する様々な施設の電気設備の設計・施工や、国道の維持工事に関わる街灯や情報板、信号機等の設置や補修工事など、様々なライフライン整備の作業を担ってきた。

省エネ大賞を受賞したエコシルフィの製造・販売にチカラを入れる

電気設備工事を中心とする北上電設工業

は、もう一つの柱となるユニークな事業を進めている。「エコシルフィ」という自社で開発した「天井ファンによる冷暖房環境向上と省エネルギーのシステム」の販売だ。2005年には東北の中小企業では初の省エネルギー大賞を受賞、06年にはグッドデザイン賞を受賞するなど、輝かしい受賞実績を誇る。

このエコシルフィの営業推進を行う部署に武山さんは所属する。

「自慢できる自社製品の営業を担当させていたで誇りに思っています。快適な環境をつくり、さらに省エネにつながる製品ですので、お客様にも喜んでいただけると思います」と語る。

通常、暖房による暖気は天井付近にたまる

冷暖房エネルギーを最大30%省エネ！ 室内の温度ムラを一気に解消！

室内環境改善型 省エネシステム エコシルフィ

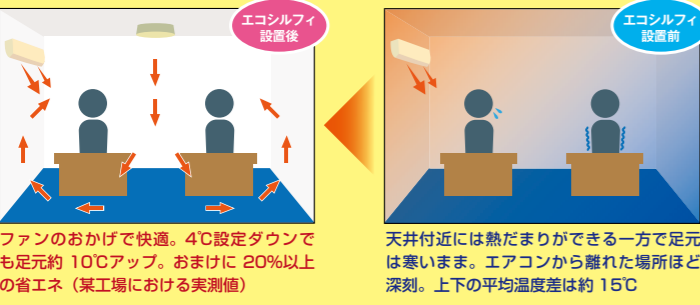
第12回(平成13年度) 省エネ大賞受賞



- エコシルフィのメリット
- ① 温度ムラの解消で快適環境がわかる
 - ② 省エネ効果が20～30%
 - ③ エアコン能力を20%削減しても冷暖房効果は同じ
 - ④ 結露防止、カビ防止効果
 - ⑤ 排気効率の向上
 - ⑥ 冷暖房、中間期共、年中使える
 - ⑦ エアカーテンの効果
 - ⑧ 会議中眠気がおきない
 - ⑨ 空気がよどまなく、さわやかな環境になる



省エネ大賞を受賞した自社開発商品であるエコシルフィ商品ラインナップ。冷暖房時の温熱環境改善を図り、電気代の節約にもつなげる。再生プラスチック利用によるエコマークの認定も受けている



企業情報
北上電設工業株式会社
所在地 / 石巻市末広町 2-10
TEL 0225-96-4140
FAX 0225-93-8090
http://kitakami.co.jp/
代表取締役社長 / 高橋 寛治
設立 / 1975年1月
従業員数 / 33人(2015年6月10日現在)
事業領域 / 電気工事業・電気通信工事業・電気器具類販売・空調設備工事・交通信号機工事・省エネ機器製作販売・オール電化設備工事
企業方針 / 当社は環境を開拓できる企業目指し、①社会から求められる企業②目標とする社員像を目指した人づくり③社員の生きがいの創出と人間性向上を実現



営業推進グループの一員として
誇りを持って自社製品の拡販を



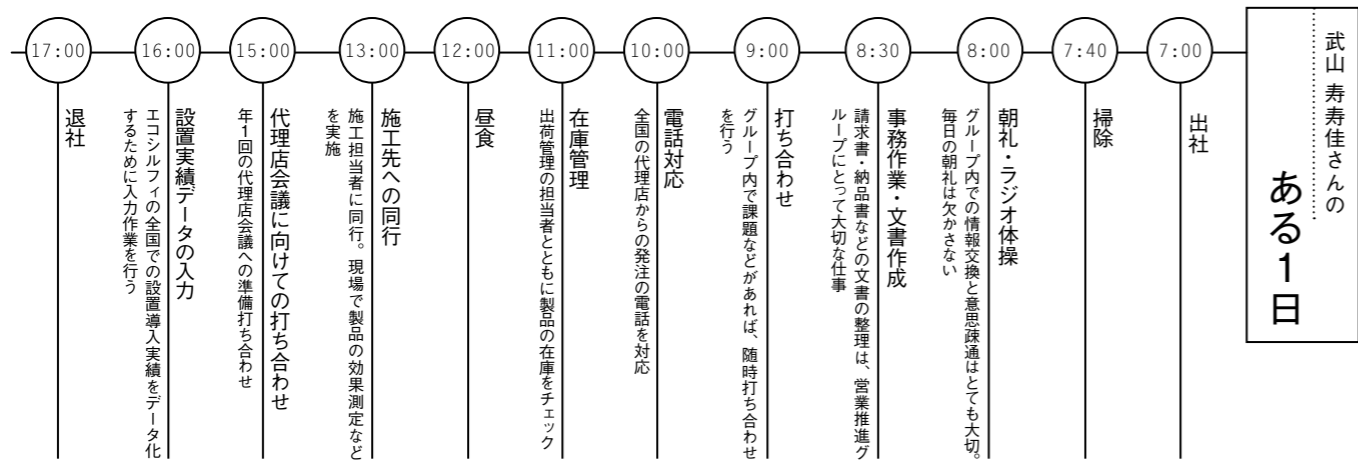
施工現場に同行。風量・温度などのチェックを自ら行い、製品の効果を身を持って確認する



全国からかかってくる製品発注の電話対応。しっかり納入日などの確認も行う



グループ内の朝礼で、営業状況の確認や、各自の課題の報告などを行う



出荷管理の担当者とともに在庫チェック。2重チェックを行い間違いがないようにする



日々最新の情報はグループ内の勉強会で習得。提案するには、しっかり製品知識を共有していることが大切



上司と打ち合わせ。分からないこと・不明な点をそのままにしないことを心掛けている



先輩からの 未来のACEへ アドバイス

会社に入った時に社長から言われたことが「あいさつをしっかりしなさい」ということ。入社から4年たつて、全国の代理店の人と話をする機会も増えてきていて、ますます、「コミュニケーション」の大切さを痛感しています。ぜひ、学生の頃から笑顔を意識してコミュニケーションを取れるようになってほしいと思います。

今、大切ななと身にしみて思うことは、「わからないことは、そのままにしない」ということです。不明な点は上司などに積極的に質問してクリアにすることを心がけています。営業などでお客様に提案する際に必要な専門知識を持っていることが大切だと仕事を通して実感しています。どんなことにも興味を持って吸収する習慣を若いうちから身に付けていると、社会人になってからとても助かると思います。

上司に聞く



営業推進グループ
営業推進課
主任
武田 仁子さん

いろいろなモノに興味を持ち、視野を広げて 若い女性のパワーを発揮してほしい

入社から4年になる武山さん。一生懸命やってくれていますし、吸収力もあり、何も言わなくてもできるようになってきていると思います。若い人のパワーを感じますね。うちの会社は現在、11人の女性が働いています。今後もし若い女性の力が必要ですし、その意味でも武山さんには期待を寄せています。現在、武山さんには全国の代理店の人のやりとりをしてもらっています。それぞれの地域性もあり大変だと思えますが、頑張ってくださいね。人間的に成長する上でも、プライベートの時間を大切にしてみてください。若いうちにできることをどんどんやって、営業推進担当にとって大切な広い視野を持つてほしいと思います。

ていて無駄な暖房エネルギーを使っていることになる。これに対して効率良く室内全体の空気をかき混ぜるために、床面に向かって直線的な風を生み出して「強制対流」をつくり出すのがエコシルフィの仕組みだ。床面の温度が上昇してひざから下がホワッと暖かくなる。

営業部員として自社商品の拡販に 役に立てる人材になりたい

「顔付近とひざから下の温度が同じになり、たいへん過ごしやすくなります。天井付近の暖気を有効に活用しますので、電気代の節約にもつながります」と、武山さんは営業推進グループの一員として、しっかりとエコシルフィのシステムやメリットを正確に伝える。グループ内の勉強会を定期的に開き、最新の施工事例や効果測定データ

「エコシルフィの力をより効果的に発揮させるには、レイアウトを考えて設置する場所が重要です。そのため、私どもは設計・施工そして製品まで含めたシステム全体の販売をさせていただいておりま

タなどを共有している。「女性が多い職場では、夏場の冷房で身体の不調を訴える人が増えています。エコシルフィを使えば、足元が冷え過ぎない環境ができるんです」と、女性ならではの視点で営業活動を進めている。

「年1回開催している全国販売代理店会議を、企画から準備まで部内で担当しています。昨年は司会もさせていただきました。各地域の代理店とともに全国に向けて自社製品を販売しているという誇りを感じることができました」とやりがいを語る。

宮城県東部地方振興事務所など県関係の施設でも使われるエコシルフィ。「特定随意契約制度認定商品」という県からのお墨付きを頂いた経緯もあり、その信頼性を武器に、今後も自社製品を広げていきたいと思っています。北上電設工業では現在、屋上太陽光発電設備の設置及び改修工事などにも力を入れている。「そのノウハウを活かし、わが社では一般住宅や事務所・店舗など幅広く施工し、地球環境保全に積極的に貢献していきたいと考えています」と武山さんは話す。



仕事
図鑑
CASE
02

室内環境改善と省エネの トータルソリューション

営業事務

武山 寿寿佳さん (22歳)
北上電設工業株式会社 (石巻市)



- 積極的に各種展示商談会にエコシルフィを出展。お客様に実際に体感してもらい商談に結びつける
- 全国から多数の担当者が集う全国販売代理店会議。武山さんは司会を担当するなど営業推進グループとして積極的に関わる

企業情報

株式会社エコサーブ

所在地 / 本社：大崎市古川駅南 3-17-2
 営業本部：加美郡加美町字赤塚 471-1
 TEL 0229-63-7577
 FAX 0229-63-7336
 http://www.eco-serve.biz

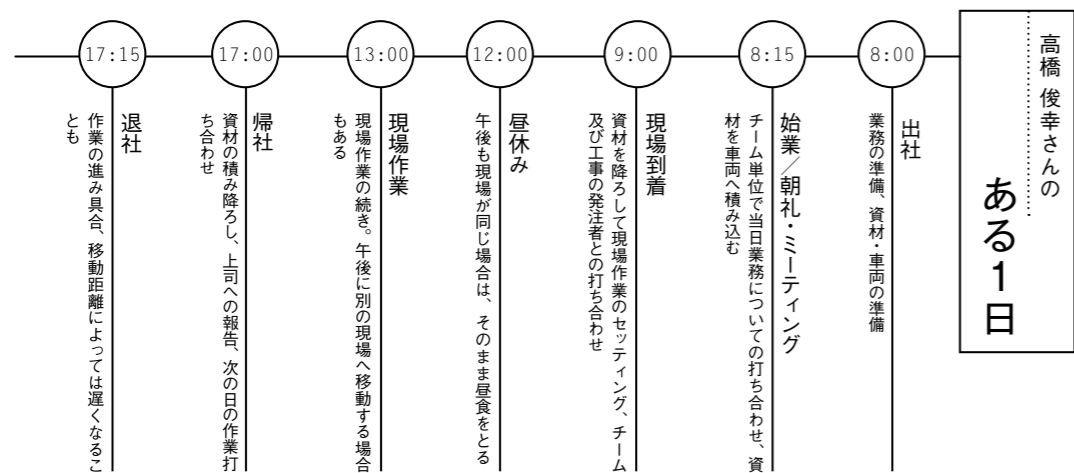


代表取締役社長 / 齋藤 信
 設立 / 1987年
 従業員数 / 206人 (2015年4月現在)
 事業領域 / ビル総合管理事業、環境保全事業、設備工事事業、リフォーム、ソーラー発電事業、サービスステーションなど
 企業理念 / クリーンな未来をめざし、和と誠実をもって、地域社会の環境保全に貢献する

エコサーブの仕事には、こんな資格が必要になってくる

エコサーブで取り扱う設備工事関連の作業には、以下のような資格が必要になる。会社ではスキルアップしたい従業員の熱意に応えるべく、資格の取得をバックアップしている。

- 給水装置工事主任技術者
- 給水装置工事配管技能者
- 管工事施工管理技士1級・2級
- 下水道排水設備工事責任技術者(宮城県)
- 車両系建設機械運転技能者(整地等)
- ボイラー据付工事作業主任者
- ガス溶接作業者
- 第一種・第二種電気工事士
- 浄化槽管理士
- 浄化槽設備士
- 貯水槽水質衛生管理士
- 貯水槽清掃作業監督者
- 消防設備士(甲・乙)
- 建設設備士



高橋 俊幸さんの
ある1日

エコサーブで働きたいと思いました」と志望動機を話す。

エコサーブに入社して、高橋さんはさまざまな現場の作業を経験した。「取り扱う仕事の範囲が広くて覚えることが多いので、現場ごとで気持ちを切り替えながらやって



現場から帰社後、上司に現場の状況と工事の発注者への対応などについて報告。次の作業指示書と日程を確認する



現場到着後、資材と工具をチェックしながら作業車から運び出す



エコサーブの営業本部には大量の資材・設備機器を収容する資材倉庫があり、各現場で必要な資材をここで準備する

いく必要がありました。とても大変でしたが、挑戦しがいのある面白い仕事です。ここはこういう段取りにした方がいい、この仕事はここがポイントかな、と楽しみながら仕事をしています。今はまだ先輩に教えてもらいながらの段階ですが、早く一人前に

未来のACEへ
先輩からのアドバイス

工事の分野が広いので、トライする気持ちがあれば、どんな力をつけられる仕事だと思います。その中で、ちゃんと周りの状況を見ながら自分で判断する力が必要です。「工事の発注者とお茶飲み話から次の仕事につながることもある」。僕は先輩からそう教えられました。日頃から周りに注意していないと、せっかくそこに大切なものがあっても気づかない。仕事をする姿勢として大事なことだと思います。



なっって自分の考えでできるようにしたい。そうすれば、より一層仕事が楽しくできるはずですよ。「車両系建設機械」や「給水装置工事」など新たな資格取得も視野に入れている高橋さん。今日もまた、新しい現場に立ち向かっている。

環境・ビル・設備工事など
多彩な事業を展開する地域密着型企業

環境保全・ビル総合管理・設備工事・リフォーム・ソーラー発電事業など、幅広い事業活動を行うエコサーブ。社名は「エコロジカル・サービス」環境に奉仕する」という事業方針に由来し、さまざまな事業を通して地域の環境向上に貢献すべく取組を続けてきた。環境省が環境への取組を適切に実施・運用している中小事業者を認証・登録する「エコアクション21」の認証を受けている。

東日本大震災後は、被災した女川、石巻、気仙沼地域の復興工事、水産関係の施設の立ち上げなどに数多く携わった。水産関係の施設においては、専門技術が求められる場合が多く、そのノウハウを持つ業者でなければ対応は難しい。地元大崎市では被害を受けた下水道の汚泥処理に迅速に対応し、大崎市より感謝状を受けた。官公庁の仕事も多いが、一般住宅の工事も多く手掛ける。加美町・色麻町では、町内の冬季の除雪作業を請け負うなど、地域密着型の企業として尽力している。従業員の知識・技術の向上を目指した教育指導も熱心で、従業員の資格取得も全面的にバックアップしている。



幅広い現場に対応
工夫する、作り出す面白さがある

現場によって、それぞれ課題が違う
だから挑戦しがいがある

高橋俊幸さんは、2014年12月にエコサーブに入社、営業本部設備工事課に所属している。高校卒業後、ずっと設備・電気工事関係の仕事をしてきた高橋さん。エコサーブ入社前は、国家資格である第二種電気工事士の資格を活かして、空調関係の仕事をしてきたという。「エアコンの設置・取り付けが主な仕事でした。将来のためにもっといろんなことをやってみようと考え、設備や電気工事、太陽光発電の工事も手掛け



- 1 現場で作業をする高橋さん。ミニショベルカーが進入できない狭い場所では手掘り作業となる。土を搬出する足場の確保、配管の位置決めなど作業の難易度がより高まる
- 2 規格サイズの配管を、現場で測量したサイズに合わせてカットする
- 3 現場での測量。効率が高く、安全な作業のためには、息の合ったチームワークが要求される
- 4 トラックステーション所属の先輩と産業廃棄物収集運搬車の前で会話。他部署の人とのコミュニケーションは仕事の幅を広げるチャンスだ

仕事
図鑑
CASE
03



心のこもった工事とサービスで
地域を支え、環境を守る

設備工事
高橋 俊幸さん (30歳)
株式会社エコサーブ (大崎市)

社会の発展と共に歩んできたタゼン創業 410 余年の歴史

タゼンの当主は代々「善蔵」を襲名し、青葉城をはじめ、松島の瑞巖寺、大崎八幡宮、瑞鳳殿などの飾り金具類を手がけてきた。その技は大名のみならず庶民の暮らしにも役立てられ、ヤカンや銅鍋、割烹や旅館の風呂釜にも活かされている。延宝時代（1673～1681年）には菓子製造器具類も作るようになり、仙台駄菓子や太白飴など伝統的な菓子文化も、タゼンの銅加工技術が支えてきた歴史がある。

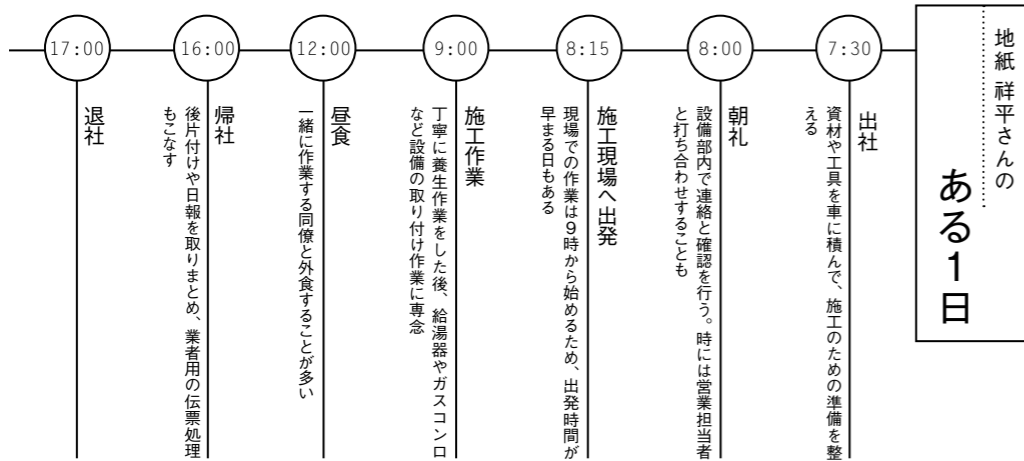
1873年に銭湯用パイラーを製造したタゼンは、その14年後に「循環式風呂釜」を完成。この時代の製品は、最先端を行く技術として絶賛され、景気の上昇

1995年に創業400年記念事業として、伊達政宗公霊廟瑞鳳殿の天水舎に奉献された青銅製「龍の口」▶

とともに着実に世の中に普及していった。戦後、仙台市ガス局原町工場が落成されると、タゼンはガス風呂指定業者第1号に認定された。その後も風呂の総合メーカーとして地位を固め、いち早く大手設備メーカーとの特約代理店契約も締結。住宅関連産業の総合商社として現在の企業地盤を築いていった。



いるのは、「お客様の満足を一番に考えること」だという。商人のような職人たれ。長い歴史と伝統を持つタゼンが守り続けている「職人商人」の精神が、地紙さんの心にも着実に浸透しているようだ。



同年代の後輩とコンビを組み、現場に向かう



迅速・丁寧な作業は地紙さんの持ち味。お客様から「またお願いします」と言われると、自身の成長を感じることができる



取り扱う設備は重量もあるため、ほとんどの作業は2人1組で行う。施工現場は新人教育の場でもある



工具や資材の取扱いは慎重に行う。近隣に騒音などで迷惑がからないように細心の注意を払う



施工前には、リフォーム担当営業と綿密な打ち合わせを行う



未来のACEへ 先輩からの アドバイス

私は職業訓練校で、液化石油ガス設備士の資格を、入社後には仙台市ガス第3種工事人の資格を取得しました。仕事に必要な資格は、入社後に取得できるので心配はいりません。ただ、現場へ車で移動することが多い設備工事では間違いなく必要になるので、自動車の運転免許はあらかじめ取っておいた方がいいと思います。設備工事の仕事は、新しく覚えることが多く、日頃から勉強することが不可欠です。もっとスキルアップしたいという「ハングリースピリット」を持って臨めば、勉強も楽しくできるはずです。万が一仕事でミスをしてしまっても、隠そうとしてはいけません。何事も素直に受け止め、前向きに対処する心構えが必要です。

リフォームで実現する
安全・便利でより快適な暮らし



仕事
図鑑
CASE
04



豊かな暮らしを築く 老舗の企業文化と精神

設備工事
地紙 祥平さん (23歳)
株式会社タゼン (仙台市)

410余年の伝統と優れた技術を武器に移り変わる時代のニーズに応える
タゼンの歴史は、太閤豊臣秀吉が君臨した天正時代（1573～1592年）にまでさかのぼる。タゼンの始祖である「善蔵」は、大坂で御飾職——今の彫金工として腕を振るい始めていた。伊達政宗公によって見いだされ、慶長元年（1596年）大坂から東北の地に連れて来られた善蔵は、青葉城御本丸の装飾などで優れた手腕を発揮。その功績が認められ、政宗公から出身地である「田中」の姓が与えられた。この時から善蔵は「田善」と呼ばれるようになり、今も社名となっている。
銅の彫金工から興ったタゼンは、その後

も地域の繁栄を支えながら時代のニーズに柔軟に対応してきた。現在は、給湯器や浴槽などの住設機器の販売からリフォーム、伝統の銅製品の製造販売まで、幅広く事業を展開している。
住まいの「火」と「水」に関わるリフォームに携わる地紙祥平さんは、入社4年目ながら、設備工事のエースのひとりとして職場で期待されている。「現場で働きたい」と今の仕事を選択しただけあって、リフォームの現場で技術を磨きながら充実した毎日を送っているという。
職人商人の精神をモットーに
安全・安心な設備工事を心掛ける

「震災直後に入社したため、いきなり目が回るほどの忙しさを経験しました。そのおかげで、自然とスキルが身につきました。リフォームの現場に携わるうちに、ものづくりの本質が見えてきました」と語る地紙さんは、設備メーカーが主催する講習会などにも積極的に参加しているという。
「最新の設備機器は、既存のものとは微妙に違いがあります。日頃の情報収集も大切な仕事です」
そんな職人気質の地紙さんが最も気を配っているのが、施工現場での養生作業だ。「施工中に建物の床や壁に傷をつけてしまったは大変です。元通りにするために手間とコストがかかってしまいますからね」。そう話す地紙さんが、何よりも大切にして

企業情報

株式会社タゼン

所在地 / 仙台市青葉区一番町 1-12-40

TEL 022-225-6857

FAX 022-225-6859

http://www.tazen.co.jp



代表取締役社長 / 田中 善一

創業 / 慶長元年 (1596年)

※ 1960年4月に法人組織化

従業員数 / 53人 (2015年7月現在)

事業領域 / 住設機器の販売、リフォーム・工事、銅製品の製造・販売

企業理念 / タゼンは暮らしをより多彩に、より快適にお客様の不満を解消することを誓います



1 入社4年というキャリアながら、地紙さんはリフォームの現場を任されている。現場では他の業者と協力しながら作業する場合も多い。先輩からその場で学べる環境が、地紙さんのスキル・アップにもつながっている

2 水まわりだけでなく、床暖房パネルの設置などリフォーム全般を、自分一人でごこなせるようになるのが当面の目標だ